

グ  
ア  
ム  
島

(十六夜の記録)

伊藤正

# グアム島

十六年の記録

伊藤 正

二見書房刊

昭和 35 年 6 月 25 日 発 行

© Printed in Japan. 無断上演，転載を禁ず。

---

グアム島 十六年の記録

定価 260円

著 者 伊 藤 正

印 刷 株式会社堀内印刷所

製 本 株式会社徳住製本所

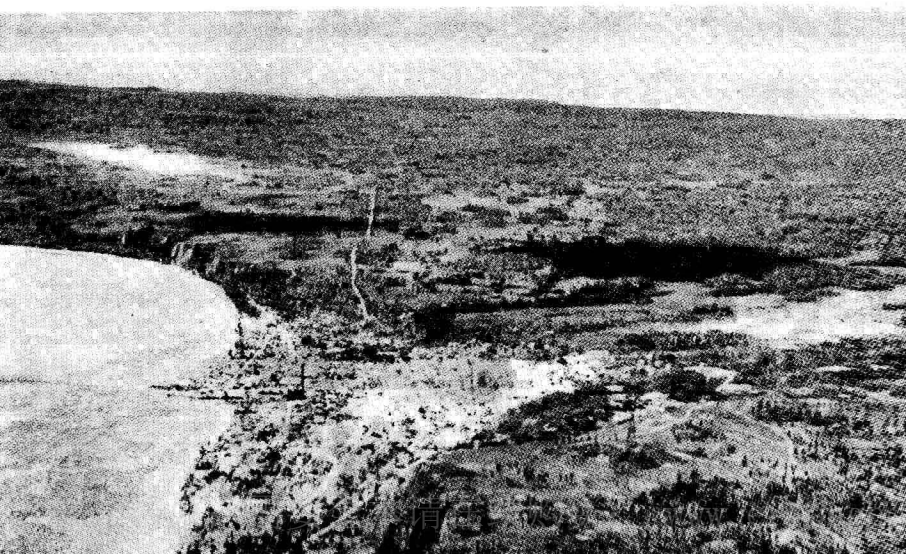
振替 東京 61405 番  
電話 東京 (301) 1615 番  
東京都文京区水道端町 2~8

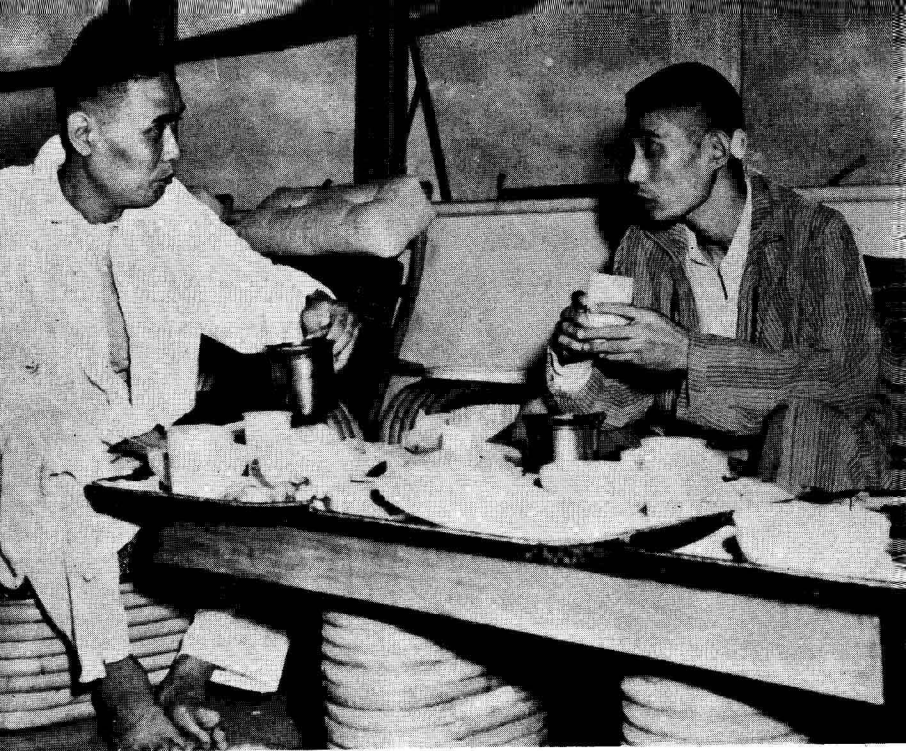
発 行 二 見 書 房



昭和19年 7月グアム島上陸の米軍を掩護射撃する米戦艦の主砲

発見された直後の伊藤  
さん（左）と皆川さん  
（右）の姿（右上 U  
P I -サン）米軍海軍病  
院で食事中の二人（左  
上 WWP）空中より  
みたグアム島アガナ付  
近（右下）同じくアガ  
ナ湾の遠景（左下）





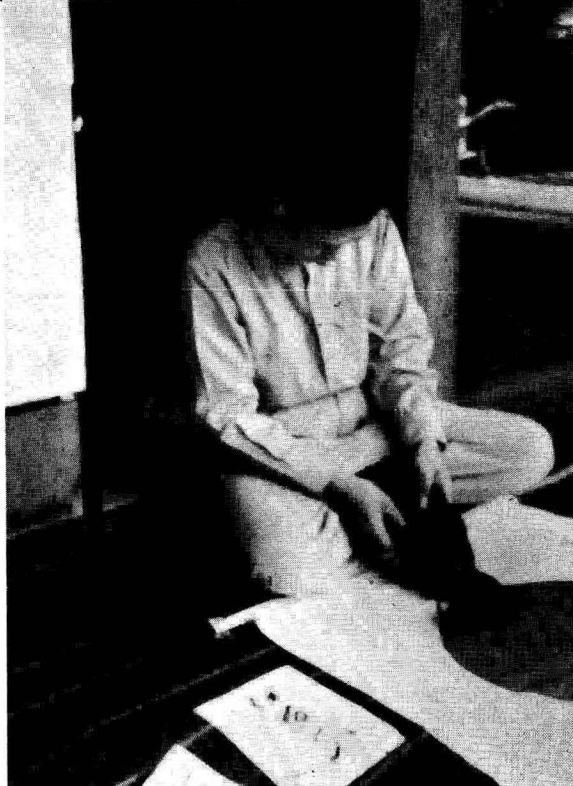


二人が天幕をはって暮していた  
ジャングルの住居（左）ジャングル  
生活で使っていた道具（下）









自分の墓の前で感慨に  
ふける伊藤さん（左）  
山深い伊藤さんの生家  
（上）ジャングル生活当  
時の頭髪を手にする伊  
藤さん（右）





原稿執筆中の著者  
(上)とその居間  
に使われている土  
蔵(下)

戦争がつくった……  
犠牲者の一人が……  
南国の孤島で綴った  
日記から想を起し …  
十六年間の歳月を …  
死と恐怖に生きた貴  
重な人間記録です …

目次

海と空と島

戦場へのみち	一五
グアム島上陸	一八
戦友を失う	二三
敵襲	二四
敗戦の兵	二〇
離合集散	三三
孤独の彷徨	二七
ジャングル兵のかくれ家	
洞くつにひそむ	四七
牛肉のご馳走	五一

最初のかくれ家移動	二五
生活用具の革命	三三
皆川さんと別れて	六六
皆川さんは生きていた	七〇
大正天皇祭のあくる日	八三
はじめての海水とり	九〇
青くさいトカゲ	一〇三
脱島の夢を追って	一〇八
謀略?	一一六
離脱の人	一二四
再会・死	一三一
生命を支えたもの	一四八
生きる知恵	一五三
弾丸と蛮刀	一五七

青春の行方・・・・・・・・・・・・・一六  
 三角標高の下に・・・・・・・・・・・・・一七

### 空と基地と故国

アガナ海軍病院・・・・・・・・・・・・・一八  
 半信半疑・・・・・・・・・・・・・二〇  
 帰国準備・・・・・・・・・・・・・二〇  
 離陸・着陸・・・・・・・・・・・・・二二  
 生きた英霊・・・・・・・・・・・・・二三  
 墓石は生きていた・・・・・・・・・・・・・二五  
 碑文・・・・・・・・・・・・・二五  
 あとがき・・・・・・・・・・・・・二六  
 グラム島概略図・・・・・・・・・・・・・二八

※四、五頁の写真はUPI・サン提供

海と空と島



# グアム島

